

インディアナ日本語学校便り

だいごう
第27号

令和5年12月9日事務所 317-255-1631 メール ijls@indiana-j-school.net

(HP) <http://www.indiana-j-school.net>

校長 森 勝義

「クリスマス企画」 ～ネコシリーズコンテスト～

校長 森 勝義

気がつけば、あっという間に12月に入りました。オーチャード校のハロウィーンパレードに始まり、サンクスギビングの盛り上がり、ブラックフライデーに興奮し、落ち着く間もなく街はクリスマスモードに突入しています。私の家周りも華やかなイルミネーションで飾られた家がまるで華やかさを競うかのように、毎夜点灯しています。日本にいた頃は「NY冬の風物詩」であるロックフェラーセンターのツリー点灯式の模様をニュースで見っていました。今年は11月29日の夜、ニュースで点灯式を見ていたとき、なんだか不思議な気持ちでした。昨年12月1日、文部科学省から「インディアナポリス補習授業校派遣辞令」を受けたのがちょうど1年前、年を取るたびに若い頃と比べて一年が経つスピードが速くなってる気がするのは私だけでしょうか。

さて、12月2日、正面玄関受付で「ネコシリーズコンテスト」を実施しました。幼稚部の園児から小学生、中学生・高校生、保護者の方々にも投票していただきました。全投票数304票でした。かわいい猫の写真だけではなく、下の四字熟語もしっかり読んでくれました。

第一位 {敵情偵察} 得票数144票

第二位 「柔和温順」 得票数43票



第三位 「神出鬼没」 得票数 4 1 票

第三位 「慎重居士」 得票数 4 1 票



第二回「ネコシリーズコンテスト」は近日実施します。

伝統工芸の良さを伝えよう。② 4年1組

赤べこ

大宮亮平

赤べこは福島の伝統工芸品で寺の工事を助けて最後まで生きのびた赤い牛を張り子にした物です。赤べこにはふたついいところがあります。一つは魔除けこうかです。黒い点は、病を民の代わりにせおっているからできました。病にかかっても重くならないようにとの思いをこめて張り子になっています。なので、コロナの時はお守りとしても使われていました。もう一ついいところは、じつは材料の入手がかんたんで、なにかで型を作ってしまうと、型に和紙を何重にもかさねて、はがしてかわかして、糸で体と首をつなげたら完成。そして、木でできたビールやワインのふたとストローやペットボトルを組み合わせれば、私たちでもつくれます。みなさんも、赤べこの良さを実感してみませんか？

江戸風鈴

高橋悠珠

江戸風鈴は、江戸時代から伝わる技術を受け継いで制作しています。ガラスは型を使わずに作られています。風鈴の下についている短冊のデザインは、上が朱色で下が緑色の「天地ぼかし」という技術が使われています。天地ぼかしは太陽の恵みと、地上の生命のはんえいを表しています。

輪島塗

三浦勇人

輪島塗というのは石川県輪島市でつくられるしっ器です。しっ器とは紙などにうるしとよばれる樹液を何度も塗って作る工芸品です。

ぼくのひいひいおじいちゃんは輪島塗しょく人さんだったそうです。ここから輪島塗のみりよくを二つ紹介します。一つ目は輪島塗の強さです。なぜかと言うと輪島でとれる粉をまぜてつくる事で、強さが生まれます。工程を何回もくりかえすことでじょうぶになります。二つ目は、輪島塗の美しさです。なぜ美しくなるかと言うと、塗りと研ぐ工程を何度も、ときには百回以上も繰り返すそうです。このように輪島塗は、強さと美しさを両方持っているしっ器です。

別府竹細工

野中準矢

別府竹細工は、大分県で作られている伝統工芸品です。竹細工は竹を細くたてに切ったものからできています。ここでは別府竹細工のみりよくを二つしょうかいします。

その一つは「編み方」です。竹細工を編むとき八種類の編み方があります。「四つ目編み」、「六つ目編み」、「八つ目編み」、「ゴザ目編み」、「あじろ編み」、「きくぞこ編み」、「輪こ編み」、「松葉編み」の八つです。この八つを組み合わせることで二百以上の編み方があります。

もう一つはいろいろな形にできて、いろいろな使い方ができることです。例えば、ざるうどんのざる、花を入れるかご、電気のかさも竹細工で作られます。

このように、竹細工は編み方を変えることで、見ため、形、それから使い方が変わるすばらしい伝統工芸品です。

東北のこけし

鳥居航名

伝統こけしはさまざまな県で作られている、木から取りだして作った人形です。こけしは機械で回しながらナイフのような物で形をととのえて赤や緑の色をぬります。ここでは東北地方などにあるこけしをしょうかいします。

宮城県のこけしはふつうのこけしとはちがって胴体がきわめて細くなっています。これは子供がこけしをにぎりやすくするためです。

福島県のこけしは顔つきがちょっと怖くて赤い目をしていたりします。そしてほどんどのこけしは口が小さく笑ってないように見えます。

産地は東北地方に分散し、特に鳴子（宮城県大崎市）、遠刈田（とおがった）（宮城県蔵王町）、土湯（福島県福島市）が「日本三大こけし」といわれる名産地です。産地ごとに受け継がれる形や模様技法などそれぞれの特徴を持つ、とてもみりょくのある人形です。

ぼくの祖母は五百体くらいこけしをもっていて、ぼくに似たこけしをプレゼントしてくれたこともあり、こけしに興味を持ちました。

常滑焼

神谷詩羽

常滑焼の最大の特ちょうは、愛知県知多半島で採れる鉄分を多く含んだ陶土を使用することです。朱泥焼で作られた急須は、お茶の渋みや苦みを取り除き、まろやかな味わいを生み出すという特ちょうがあったのです。これは、主成分である酸化鉄とお茶のタンニンが反応を起こすためだと科学的にも証明されています。常滑焼は急須が有名ですが、急須以外にも作ることができます。例えば、まねきねこ、お皿、コップなどいろいろな形が作れて、時代とともに変わります。朱色の急須は、手入れをして使い込むことにより、お茶の味もより良くなるので、きちんと手入れをして長く使いたいですね。

寄木細工

音琴日菜

寄木細工とは色や木目のちがう木切れを組み合わせてできる模様や形を生かした細工物です。日本においては神奈川県箱根の伝統工芸品として有名であり二百年ほどの歴史があります。寄木細工にはホオノキ、ニガヤやサクラなどの木が使われています。毎年正月にかいさいされる箱根駅伝ではゆうしょうチームに寄木細工で作られたトロフィーがじゅよされます。箱根町にある畑宿寄木会館では箱根寄木細工の歴史や技術を紹介する展示や職人による実演だけでなく寄木細工のコースター作りなどのせい作体験ができます。

「きいて、きいて、きいてみよう」③ 5年2組

岩谷 颯樹

ぼくがインタビューした相手は、ぼくの兄です。兄は、小学3年生から野球をやっています。アメリカに引っこしてきて、その時は中学校に野球部がなかったけれど、高校生になって野球部があったので、また野球を始めました。そこでぼくは、兄に野球部の日本とアメリカのちがいで感じたことを聞いてみました。入部テストやポジション決めについて、日本は技術を見るけれど、アメリカは球速や飛距離やスイングスピードを測り、全てデータがメインだったそうです。そしてミスをしたとき、日本だと何がだめだったか指摘されるけれど、アメリカはどんなに悪い試合でも良かったところだけ言われてほめられるそうです。ぼくは兄から日本とアメリカの野球部の違いについてとても面白い話が聞けたので、この質問をしてよかったと思いました。ぼくもたまに兄の野球の試合を見に行くことがあるけれど、兄は頑張っていてすごいと思いました。

野球の好きな父

高橋 花帆

私は、野球を観るのが好きなので、野球に詳しい父に野球のことをたくさん聞いてみることにしました。父は小学1年生のころから野球を始めました。父はもっと上手になりたいのと、野球が楽しいという思いを足して、もう20年以上野球をやっているそうです。野球をやろうと思った

きっかけは、小さいころ野球を観に家族と一緒にスタジアムに行き、それが面白かったからだそうです。そして実際にやってみた日、最初からもう楽しみだったらしいです。私と違って、自信が無いとかはなくて、自信満々だったみたいです。20年以上もやっているのだから、もちろん大変だったみたいです。まず、練習がすごくきびしかったみたいです。夜おそくまで練習したり、走る練習が多かったりもしました。しかも、相手の学校まで走って行かないといけませんでした。しかし、それでも父は、誰よりも上手になりたかったのだから、どんなに大変でもやっていたらしいです。私は父に野球のことを聞いて、すごいなと思いました。なぜなら、私だったらきびしい練習があったらすぐ、野球をやめてしまうからです。私もそういう人になりたいと思いました。

奥谷 晏司

ぼくは母に、家事のことを聞いてみました。ぼくは昔から、家事のことが気になっていました。最初の質問は、なぜ家事をやらないといけないのか。僕の母はこう言いました。「家事は家族のためにやっているの。」第2の質問は、何の家事が一番大変か。答えは、そうじでした。母はアメリカの家が広いから、そうじがきらいだと言っていました。このように家事は大変だということが分かりました。これからは、母の手助けをしたいです。

12月2日 幼稚部クリスマス会にサンタクロースが現れてプレゼントを配っていました。



今から一年も経てば、私の現在の悩みなど、およそくだらないものに見えることだろう。サミュエル・ジョンソン
1709年〜1784年。イギリスの詩人。
困難をひとつずつ解決しながら、前に進もう。成長するにつれて悩みは小さく感じられるようになるはずだ

猛烈な勢いで活動すること。「獅子」はライオン。

獅子奮迅

し し ふん じん

